わたしたちの社会と法				単位数	2単位
授業コード	12375	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	浅沼 友恵				
時間割備考					
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)					
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
生まれてから死ぬまで、私たちが関わる(あるいは、関わるかもしれない)さまざまな法制度をわかりやすく解説する。法学の基礎(法の機能や道徳との違い、優先順位など)、裁判員制度に関する基礎知識も学ぶ。特に裁判員制度は基礎的な知識は不要とされているものの、刑法の一般知識は最低限度必要かと思われるため、刑法の基本的な知識を習得する。また、刑法に関して、女性への人権侵害に関する条項の問題点などについて世界と日本の対比も交えながら考察していきたい。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	法律の基礎や裁判員制度にかかわる基礎知識(刑法の基礎部分)を習得する。			知識・技能/思考・判断・表現力	
2	好みや感情によってではなく客観公平な目で正義を見きわめる力(legal mind という)を養う。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
3	正義や権利擁護について考えることができるようになる。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	毎回の授業を視聴して、レポートを提出していただきます。提出されたレポートの内容と期末テストを合わせて、総合的に理解度を判定します。			1/2/3	
2	①全体の3分の2以上の出席ならびにその授業の課題レポートの提出(毎回manaba folioからの提出)50%			1/2/3	
3	②期末テスト(筆記試験)50%			1/2/3	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
I インTRODクシヨン 第1回 法とは何か・国法の体系 第2回 裁判の仕組み・裁判関連の職業 II 刑法と裁判員制度 第3回 刑法の基本理念・犯罪の成立 第4回 刑罰の種類 第5回 刑法の及ぶ範囲 第6回 裁判員制度・裁判員の守秘義務 III 人の誕生 第7回 “人”とは何か 第8回 嫡出・親権・後見について 第9回 未成年者と法 第10回 少年法と現代社会 第11回 子供の人権条約について IV 家族と法 第12回 婚姻の効力 第13回 夫婦別氏制度 第14回 夫婦の財産関係 第15回 離婚の効力					

試験等 第16回目に定期試験（筆記式）を実施する。
試験のフィードバックの方法 定期試験終了後、解答・解説します。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 予習はテキストの次回のテーマの部分に目を通すことを希望します（30分程度）。授業中はノートの取り方に工夫をしてください。特に説明なども書き加え復習しやすいノートの作成を希望します。（復習時間は1時間程度）試験前にまとめて復習しようとする多岐にわたる内容を網羅することが難しいため、その都度配布されたプリントやノートの内容を見直し定着をはかるように努めてください。また、日常生活の中でニュースや新聞、ネットなど関連する記事に注目してください。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
<必携書> 『現代法学入門』（有斐閣双書）、伊藤正巳 加藤一郎、有斐閣 ISBN-13：978-4641112568 <参考書> すでに六法を所有している場合は購入不要。 『デイリー六法』、三省堂、2024年版 ISBN-10：4385158800 ISBN-13：978-4385158808
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし。
オフィスアワー 授業の前後に質問を受け付けます。
連絡先 Email:s8001@m.ndsu.ac.jp
留意事項 すでに六法を所有している場合は、再度購入する必要はありません。 課題やレポート提出のために、manaba folio/Google classroom/Wordが使えるようにしておきましょう。

わたしたちの社会と科学				【単位数】	2単位
授業コード	12377	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	小林 謙一				
時間割備考					
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)					
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
<p>SDG's (Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標) は、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり、国内外で積極的な取り組みが行われている。一方、ICTの進化等により、社会・経済の構造が日々大きく変化する「大変革時代」が到来したことに対応すべく、政府は科学技術イノベーション推進の必要性を説いている。その中で、日本が目指すべき未来社会の姿としてSociety 5.0という概念が提唱され、浸透されつつある。加えて、我々が生きていく上で大切な「食」についてもさまざまな技術革新が進んでおり、我々の生活にも大きな変容をもたらされようとしている。これらは、取りも直さず、私たちを取り巻く社会が、高度な科学技術を基盤にしていることを意味している。したがって、社会と科学の関係性を理解していくことが、これからの社会を生きていくためには必須のことと言える。</p> <p>そこで、本講義では、農学、工学、医学、栄養学、そして情報学などの科学的視点から、現在試みられている取り組みや将来への展望について考えてみたい。本講義によって、私たちの生きている社会的諸問題とその解決策について科学的に説明でき、そして未来への展望について考察できるようになることを目指している。</p>					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	SDG'sについて正確に説明できるようになる。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
2	Society 5.0の概念について正確に説明できるようになる。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
3	食の「未来」について、正確に説明できるようになる。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
4	本講義では、社会的課題の問題点や解決に至るための、基礎的な科学的情報を理解できるようになる。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
5	社会の問題点、課題点、そしてそれらの解決策について説明できるようになる。			思考・判断・表現力/主体性	
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	復習課題 (manaba) 45%			1/2/3/4/5	
2	最終レポート 55%			1/2/3/4/5	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
<p>第 1 回：オリエンテーション・・・本講義の概要について正確に理解する</p> <p>第 2 回：SDG's (Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標) の基礎・・・SDG'sの概要について説明できるようにする</p> <p>第 3 回：目標2「飢餓をゼロに目標」についての取り組み・・・食品ロスや自給率の向上に関する取り組みについて説明できるようになる。</p> <p>第 4 回：目標3「すべての人に健康と福祉を」についての取り組み・・・予防医学や食の観点からの取り組みについて理解できるようになる</p> <p>第 5 回：目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」・・・暮らしを支える強靱(レジリエント)なインフラの構築や技術革新について説明できるようになる</p> <p>第 6 回：目標12「つくる責任つかう責任」についての取り組み・・・循環型経済に関する取り組みなどについて理解できるようになる</p> <p>第 7 回：Society 5.0の基礎・・・Society 5.0の基礎とその背景について理解できるようになる</p> <p>第 8 回：Society 5.0と生活の変革について・・・高度情報社会における生活の変動について考察できるようになる</p> <p>第 9 回：Society 5.0と社会の変革について・・・高度情報社会によってもたらされる人間社会の変動について理解できるようになる</p> <p>第 10 回：Society 5.0とウェルビーイングの実現について・・・高度情報社会における健康社会の実現について考察できるようになる</p> <p>第 11 回：食の未来を考える(1)・・・「昆虫食」についての基礎と課題点について説明できるようにする</p> <p>第 12 回：食の未来を考える(2)・・・「代替肉」についての基礎と課題点について説明できるようにする</p> <p>第 13 回：食の未来を考える(3)・・・「培養肉」についての基礎と課題点について説明できるようにする</p> <p>第 14 回：総括：人類の未来と科学(1)・・・科学の発展だけが、我々人類の未来のために必要かどうかを考察できるようになる</p> <p>第 15 回：総括：人類の未来と科学(2)・・・私たちの生活と科学の付き合い方について考察できるようになる。</p>					

試験等 最終レポート
試験のフィードバックの方法 manabaを通してレポートなどの講評を行う。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 （予習）授業やmanabaを通して、事前に調べていた方が良い課題を与えて、事前に調べておくこととする。（30分程度） （復習）復習課題などを行うことによって復習とする。（30分程度）
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
特になし。
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業時にプリントを配布する。
オフィスアワー 月曜日4時限
連絡先 k4kobaya@post.ndsu.ac.jp
留意事項

わたしたちの社会と政治				【単位数】	2単位
授業コード	12412	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	小田川 大典				
時間割備考					
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)					
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
本授業は、政治学の基礎を学ぶことで、現代政治の諸問題を理解し、政治学の知見を踏まえた考え方を修得することを目的とする。授業では、課題図書レポート(1200字以上)を三回ほど課し、現代政治の諸問題について検討する機会を持つ。これらを総合し政治学分野における現代的課題を考察する。授業時間外でもmanaba folio で課題(四択問題)を提示し自主学習を行う。					
アクティブラーニングの実施内容		発見学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	現代政治と政治学について基本的な知識を身につける。			知識・技能	
2	現代政治の諸問題について自分の議論を組み立て、適切に文章化できる。			思考・判断・表現力	
3	現代の政治についての知識をもとに、社会のさまざまな問題に主体的に取り組むことができる。			思考・判断・表現力/主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	課題図書『動物農場』についてのレポート(1)(字数・段落分け・内容) (30%)			1/2	
2	課題図書『動物農場』についてのレポート(2)(字数・段落分け・内容) (30%)			1/2/3	
3	教科書『女性のいない民主主義』についてのレポート(字数・段落分け・内容) (40%)			1/2/3	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		該当なし。			
実務経験の授業への活用方法		該当なし。			
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
【授業の予定】					
1. イントロダクションー「世界がもし100人の村だったら」					
2. 政治学入門(前半)ージェンダー研究の知見を踏まえて					
3. 政治学入門(後半)ージェンダー研究の知見を踏まえて					
4. 「民主主義」の定義を問い直す(前半)ージェンダー研究の知見を踏まえて					
5. 「民主主義」の定義を問い直す(後半)ージェンダー研究の知見を踏まえて					
6. 第一回レポート解説					
7. 「政策」は誰のためのものか(1)ー福祉国家は男女平等を推進するか?					
8. 「政策」は誰のためのものか(2)ー「男性稼ぎモデル」はなぜ変えにくいのか?					
9. 「政策」は誰のためのものか(3)ー政策の変化はどのようにして生じるか?					
10. 第二回レポート解説					
11. 誰が、どのように「政治家」になるのか(1)ー女性議員の割合がふえないのはなぜ?					
12. 誰が、どのように「政治家」になるのか(2)ー女性議員の割合がふえないのはなぜ?					
13. 現代政治の諸問題(1)					
14. 現代政治の諸問題(2)					
15. 第三回レポート解説					

試験等 期末テストは実施しないが、三回のレポートを課す。manaba folio を使って提出すること。 1. オーウェル『動物農場』についてのレポート(1) (1200字以上) 2. オーウェル『動物農場』についてのレポート(2) (1200字以上) 3. 前田健太郎『女性のいない民主主義』についてのレポート (1200字以上)
試験のフィードバックの方法 コメントを manaba folio で発表する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 （予習）この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。問題は事前に提示するので、予習段階では配布された資料を読み、その問題について、自分なりの答を考えてください（2時間）。 （復習）この授業では毎回出席確認用の4択問題を課します。復習段階では授業の内容を踏まえ、解答してください（2時間）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 女性のいない民主主義／前田 健太郎／岩波書店／860／9784004317944／冊子版 動物農場／ジョージ・オーウェル／岩波書店／780／9784003226247／冊子版
<必携書> 『女性のいない民主主義』前田健太郎, 岩波新書 『動物農場：おとぎばなし』, ジョージ・オーウェル, 岩波文庫
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
オフィスアワー 一、非常勤講師なのでオフィス・アワーは設けません。質問等は授業終了時か、下記のメールアドレスで受け付けます。 report.odagawa@gmail.com 二、授業についての情報はすべて manaba folio でお知らせします。
連絡先 report.odagawa@gmail.com
留意事項 (1)配布資料と小テストはすべて manaba folio に事前にアップロードします。教室で印刷資料を配布することはありませんので、事前にダウンロードして、プリントアウトして持参するか、スマホ、タブレット、ノートパソコン等に入れて持参してください。資料提示はすべて教室のモニターやスクリーンを用いて行いません。 (2)出席確認用小テスト、ミニレポートの提出は、すべて manaba folio 上で行ないます。 (3)原則として対面で実施します。

わたしたちの社会と経済				単位数	2単位
授業コード	12432	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	山本 由美子				
時間割備考					
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)					
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
<p>本授業では日本経済の事例を中心に、経済理論・政策について、ジェンダーの視点を用いて考えていきます。主なテーマは「授業予定」にある通り幅広い内容を扱い、教科書に加えて、時事問題も日経新聞の記事を中心に紹介していきます。一般的な経済知識を身につけられるだけでなく、経済学やそれに基づいた経済政策が私たちの日々の生活、そして学生の皆さんの人生設計にどのような影響を及ぼすかを一緒に考え、議論していきます。事例学習を通じて応用力を身につけることで社会・経済状況が理解できるようになります。</p>					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1. 将来社会人になったときに必要となる経済の基礎知識を習得し説明できる。				
2	2. 社会問題や経済の話題を自分の身の回りのこととして認識し、分析することができる。				
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	毎週の課題 85% (到達目標1, 2)				
2	期末レポート 15% (到達目標1, 2)				
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
<p>1-2. イントロダクション (授業の概要、フェミニスト経済学への招待) 3. アンペイドワーク-人間のニーズとケア 4. 世帯 5. 生活時間 6. ジェンダー統計 7. 労働市場 8. マクロ経済 9. ジェンダー予算 10. 福祉国家 11. 金融 12. 資本・労働力移動 13. 貿易自由化 14. 開発 15. 環境・災害</p>					

試験等 期末レポートは授業で学んだことを基に、自分の気づきについてまとめる。
試験のフィードバックの方法 Manaba folio からフィードバックを送信。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 (予習) 次週に予定されているテーマに関して教科書の該当部分を熟読し、質問等をまとめ、授業前にmanaba folioへ提出。他にも、新聞を読み、特に社会・経済面のニュースに慣れ親しむこと（約2時間）。 (復習) 講義で学んだことをまとめ、授業前後での理解や認識、興味関心を振り返り、次週の章に関する質問とともにmanaba folioへ提出（約1時間）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 フェミニスト経済学／長田 華子／有斐閣／3700／9784641166202／冊子版
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし
オフィスアワー 授業に関する質問は授業後、メール、あるいはmanaba folioで受け付ける。メールを送るときにはタイトルに「清心」と入れるとともに、本文に学科・学年・氏名を記入。
連絡先 yumikoyamamoto@okayama-u.ac.jp
留意事項 履修するにあたり特別な配慮を必要とする場合は事前に相談すること。 講義での説明等に質問がある場合は、遠慮せず尋ねること。

<p>試験等</p> <p>授業レポート 授業の中で使用するワークシート・課題レポート</p>
<p>試験のフィードバックの方法</p> <p>留意点について解説する。(資料提示等)</p>
<p>準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間</p> <p>参加型学習を取り入れるため、授業外学習として資料を読み要点をまとめること。(約30分) 参加した活動について振り返りを各自で行い内容をまとめること。(約30分) 課題として出されるものもあるので、十分な資料検索を行い内容を整理し記述すること。授業前に課題(新聞.yahooのニュース記事を読む。長所、短所を考えるなど)を伝えるので、家で実践してきてもらいたい。(約1時間)</p>
<p>必携書(教科書販売)</p> <p>書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考</p>
<p><必携書></p> <p>『ESDがグローバル社会の未来を拓く -SDGsの実現をめざして』西井麻美・池田満之・治部真里・白砂伸夫編著、ミネルバ書房、2020年</p>
<p>必携書・参考書(教科書販売以外)</p> <p>書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考</p>
<p><参考書等></p> <p>『持続可能な開発のための教育(ESD)の理論と実践』西井麻美・藤倉まなみ・大江ひろ子・西井寿里編著、ミネルヴァ書房、2015年(初版第2刷)</p> <p>その他、授業中に適宜紹介する</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>授業終了後教室で質問等を受け付ける。またはメールによる質問等を受け付ける。</p>
<p>連絡先</p> <p>西井：マナバ確定後、連絡用スレッドをマナバにたてる。 富岡：tomiokamika@gmail.com 豊田：toyota@m.ndsu.ac.jp 林：yhayashi@m.ndsu.ac.jp</p>
<p>留意事項</p> <p>日程の関係上、授業開催順が変動する場合がある。 本授業は、社会教育主事課程の科目としても、シラバスを文部科学省に提出しているため、提出している内容で作成している。</p>

ことばと社会				単位数	2単位
授業コード	18035	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	高阪 香津美				
時間割備考	8/9(1-3限), 8/19-22(1-3限), 8/23(1限: 試験) 2020年度以降入学生対象。2019年度以前入学生は教養科目。				
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
日本に暮らす外国人がどのような分野でいかなる課題を抱えながら生活をしているのか、その課題をどうすれば解決することができるのかについて主体的に学び、考えます。また、このテーマは、今、この瞬間も議論がなされ、動いているものであるため、常に、社会の動向に目や耳を傾け、ニュースや新聞記事も扱います。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	物事を批判的に捉えることができる。			思考・判断・表現力	
2	多文化化する日本社会で起きる様々な事象を説明することができる。			知識・技能	
3	授業内容や自らが調べたことをつなげあわせ、課題解決のための方法を考えることができる。			思考・判断・表現力	
4	自分の身の回りで起こっている事柄に関心を持つことができる。			主体性	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	小テスト (20%)			2/4	
2	コミュニケーション問題に関するグループディスカッションの成果発表 (20%)			1/3	
3	日本人住民と外国人住民がともに実施できる防災活動案の作成課題 (20%)			1/3	
4	期末試験 (40%)			1/2/3/4	
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
<ol style="list-style-type: none"> 1 本授業の進め方、評価、課題に関する説明、日本語教育能力検定試験、日本語教師検定の紹介、教授者の自己紹介 2 日本に暮らす外国人、多言語・多文化化する岡山県の現状 3 外国人住民が抱えることばの問題 4 「言語サービス」とは 5 日本語非母語話者とのコミュニケーションを考える (グループディスカッション) 6 「やさしい日本語」に関する基礎知識 7 コミュニティ通訳 (主に医療通訳) 8 外国人と高齢化 9 外国人児童・生徒に対する教育的課題 (1) 日本の学校 10 外国人児童・生徒に対する教育的課題 (2) 外国人学校 11 外国人児童・生徒に対する教育的課題 (3) 不就学・母語教育 12 外国人児童・生徒に対する教育的課題 (4) 外国語教育 13 日本人住民と外国人住民がともに行う防災活動 (フィードバックと全体共有) 14 ゲストスピーカーを招待し、自身の活動内容を語ってもらう 15 今学期の総復習 					

試験等 ・16回目に筆記試験を行う。
試験のフィードバックの方法 小テストについては、実施直後に答えあわせと解説を行う。 期末試験については、模範解答をmanabaで掲示する。 その他の提出物については、授業内でフィードバックを行い全体で共有する。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 本授業は集中講義であり、1日に複数回連続して授業を実施する。1日に数多くのテーマを扱うため、予習が不可欠である。また、1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。なお、予習・復習のための準備学習には目安として30分を要する。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
教科書は用いず、資料を配布する。 参考図書については、適宜、授業中に紹介する。
オフィスアワー 質問は随時、電子メールで受け付ける。
連絡先 katsumikosaka@hotmail.com
留意事項 ・身の回りで起こっている事象に関心を持ち、常にアンテナを張っておくこと。 ・小テストをやむを得ず欠席する場合、可能な限り、事前に理由とともに担当者に連絡をすること。難しい場合は事後でもかまわないので、理由とともに翌日までに担当者に連絡すること。 連絡があった場合に限り、別日に小テストを実施するかどうか理由をみて判断する。なお、別日に小テストを受けることが認められた場合でも得点×0.8とする。

インクルーシブを考える				単位数	2単位
授業コード	18037	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	青山 新吾				
時間割備考					
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)	1 講義				
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
インクルーシブということばを耳にすることが増えているのではないだろうか。多様性の時代と言われる現在、インクルーシブは大切な考え方だと考えられる。そこで、リアルなエピソード語り、映像、当事者との「対話」等で、具体的に多様な人の有り方を共有しながら、インクルーシブの意味を一緒に考えていきたい。また、manabaやGoogleフォーム等を活用し、受講者同士の考えを緩やかに交流することで、それぞれの考えを深めていけるように進めていきたい。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	園や学校、地域で生きる多様な人々を知る。			知識・技能	
2	多様な人々の背景にあることや、その生きづらさを理解できる。			知識・技能/思考・判断・表現力	
3	生きづらさを生み出している社会構造や意識について理解し、自分のことばで表現できる。			知識・技能/思考・判断・表現力	
4	多様な人々を包摂したすべての人と人が共に生きるかたちを目指した関係性や教育、社会における取組を理解し、その意味を自分のことばで表現できる。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業への取組度(毎回の振り返りの記述) 40%			1/2/3/4	
2	レポート(期間中に提出) 30%			1/2/3/4	
3	最終レポート 30%			1/2/3/4	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
学校教員や教育行政の経験を踏まえ、研究協力や協議会等でコラボレーションしている地域や園・校、障害のある当事者やその保護者等との「対話」から得られた最新知見を具体的なエピソード語りで紹介することで、理論とリアルな状況を重ね合わせた授業を展開する。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
1 インクルーシブと私 2 教室や社会の中の多様性 3 「やさしいどうして？」のまなざし～セサミストリートに登場する人たち～ 4 「やさしいどうして？」のまなざし～吃音のある人の暮らしと～ 5 「やさしいどうして？」のまなざし～ASDのある人の暮らしと～ 6 肢体不自由のある人との「対話」 7 障害のある子どもを育てる家族との「対話」 8 マイノリティとマジョリティ 9 人と人が共に生きるかたち 10 人と人が共に生きるかたちを求めて(1)～イエナプラン校の挑戦～ 11 人と人が共に生きるかたちを求めて(2)～えみりちゃんと一緒に学ぶ～ 12 人と人が共に生きるかたちを求めて(3)～「バリバラ」から学ぶ～ 13 人と人が共に生きるかたちを求めて(4)～アーティストとコラボレーション～ 14 人と人が共に生きる関係 15 まとめ～インクルーシブとは何だろうか?～					

<p>試験等</p> <p>最終レポートを提出する。</p>
<p>試験のフィードバックの方法</p>
<p>準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間</p> <p>毎回の授業で、その日の内容に関連した参考文献、参考URLを紹介する。また、manabaを活用し、授業内容に関連する情報を提供したり、授業内容について更に発展的な内容や事前の学習についてコメントを発信したりする。これらを参考にしながら、授業内容への関心を高め、理解や施策を進められるよう授業外での学習にも取り組んで欲しい。その学習に費やす時間としては概ね30分～40分を想定している。</p>
<p>必携書（教科書販売）</p> <p>書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考</p>
<p>必携書・参考書（教科書販売以外）</p> <p>書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考</p>
<p><参考書></p> <p>『インクルーシブ教育とは？』青山新吾編著 学事出版</p> <p>『差別のない社会をつくるインクルーシブ教育 誰のことばにも同じだけ価値がある』野口晃菜・喜多一馬 学事出版</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>授業中に指示する。メール等での質問・相談は随時受け付ける。</p>
<p>連絡先</p> <p>saoyama@m.ndsu.ac.jp</p>
<p>留意事項</p> <p>多様な人の在り方を、リアルなエピソード語り、映像、当事者との「対話」を通して一緒に考えていく授業である。リアルタイムのペア・トークなどの交流に加え、manabaやGoogleフォーム等を活用しながら受講者同士が緩やかに交流し、人と人が共に生きるかたちを一緒に探っていきたい。</p>

キャリアデザイン基礎				単位数	2単位
授業コード	18040	科目ナンバリング	150Z0-1200-o2	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	中西 由美香				
時間割備考					
授業形態(主)	2 演習				
授業形態(副)					
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を身につけ、社会人として自立していくことができるよう「自己」「企業」「社会」の3方からキャリア形成していくために必要な基礎的な考え方・方法を学ぶ授業です。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	自分自身を理解し、他者に対して効果的に伝えることができる			知識・技能/思考・判断・表現力	
2	社会の現状を知り、具体的なキャリアをイメージできる			知識・技能/思考・判断・表現力	
3	今後の課題を見つけ、大学生活について目標を持つことができる			主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	受講態度・リアクションペーパー 70%			1/2/3	
2	期末レポート 30%			1/2/3	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目			実務あり		
実務経験の授業への活用方法					
多様な業種・業界での実績を活かして、社会の実態を踏まえた授業展開を行う。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
1 オリエンテーション(キャリアをデザインするとはどういうことか) 2 「働く」ことについて考える 3 多様な職業を知る 4 業界・企業を知る①(企業分析) 5 業界・企業を知る② 6 企業が求める人材とは 7 ゲストスピーカー(実態を知る) 8 就職と無縁ではない社会情勢について考える 9 仕事観と働き方の変化について考える 10 働くためのルールを知る 11 自己理解を深める① 12 自己理解を深める② 13 自己アピールをする 14 大学での学びを考える 15 総括					

試験等
期末レポートを提出
試験のフィードバックの方法
リアクションペーパー等でフィードバックを行う。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
特になし。必要に応じて資料配布あり。
オフィスアワー
授業についての質問等は、授業後受け付けます。
連絡先
s4055@m.ndsu.ac.jp
留意事項

キャリアデザイン発展				単位数	2単位
授業コード	18050	科目ナンバリング	150Z0-2300-o2	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	熊井 麻千子				
時間割備考					
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
<p>本授業では、国際化や技術革新の波の中で激変している社会の現実を広く知るとともに、その時代を生き抜くキャリアを支える意識・知識・行動の本質を学ぶ。教科書的に用意された答えを知るのではなく、正解のない問題に対して自分で考え、判断し、責任を持って答えを出すことの厳しさと面白さを知り、将来に渡るキャリアデザインへの仮説を形成する。授業の中では具体的な事例への考察を繰り返し、「キャリアを描く(デザインする)」とはどういうことか、に気づき、「キャリア」を自らの責任で描き、自立して生きるための力を強化する。</p> <p>授業形式は講師による講義を基本とするが、実践的な学びを獲得するために、社会人としての課題解決を支える技術を実技について伝授・演習することもある。また、経験豊富な社会人をゲストとして招聘し、その仕事内容や課題認識、キャリアへの考え方を直接学ぶ機会を複数回設けるほか、生徒同士のディスカッションによって他者との協働によるアクティブな学習スタイルを随時組み込んでいく。</p>					
アクティブラーニングの実施内容	グループ・ディスカッション				
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	キャリア形成の基本要素について理解している。			知識・技能	
2	キャリア形成の前提となる社会環境の変化について未来を洞察し、仮説をもつことができる。			知識・技能/思考・判断・表現力	
3	他者の考えに対して謙虚に耳を傾け、尊重しながら受け止めたうえで、自らの意見を的確に表明することができる。			思考・判断・表現力/主体性	
4	正解がない課題に対して自ら考え、判断し、仮説のもとで行動を積み重ねることができる。			思考・判断・表現力/主体性	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	受講態度・リアクションペーパー(30%)			1/2/3	
2	期末レポート(70%)			1/2/3/4	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目			実務あり		
実務経験の授業への活用方法					
20年を超える企業での多様な職務経験(企画・営業・管理・人事等)や人的リソースを活かした講義を実施する。経営とキャリアの視点に立ち、変化し続ける社会や現代社会のあり方を考え、キャリア形成の本質にアプローチする。学生がその理解のもとで自律的にキャリアと向き合い、創造し、デザインすることを促していく。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
<ol style="list-style-type: none"> キャリアデザイン概論と本講義における学びの構造 本授業で駆使する思考法と情報伝達スキル(解説と練習) キャリアデザインのための自己理解Part1. 「事実」の振り返りと意味づけ キャリアデザインのための自己理解Part2. キャリアアンカーの探索 キャリアデザインのための自己理解Part3. 自分の強み・弱みの把握と言葉化 キャリアデザインのための社会洞察Part1. 社会環境を読み解く視点 キャリアデザインのための社会洞察part2. 価値を失わない「仕事」 キャリアデザイン事例講義(1)(社会人ゲストによる講演) 8の講演を踏まえたディスカッション キャリアを支える「生きる力」への構造的理解 キャリアデザイン事例講義(2)(社会人ゲストによる講演) 11の講演を踏まえたディスカッション キャリアデザイン事例講義(3)(社会人ゲストによる講演) 13の講演を踏まえたディスカッション 本講義全体の振り返りと自らのキャリアデザイン <p>*ゲストの都合により講義が前後する可能性がある</p>					

試験等 最終授業終了後にレポートを提出する。
試験のフィードバックの方法 manabaの掲示板等にレポート全体の傾向を踏まえたコメントを掲載することでフィードバックを行う。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 講義で示される「次回予告」及び「事前に予習しておくべきこと」について、情報収集や考察による準備を1時間程度行っておくことが望ましい。情報収集手段は、インターネット検索で事足りるケースが多いが、内容によっては新聞・関連書籍・周囲の知人・友人へのヒアリングが効果的な場合もある。また、各回の講義後は、講義内容を振り返り考察する時間を30分程度確保することを推奨する（リアクションペーパー記入を含む）。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必要に応じて資料配布、manabaでの配信によって対応する。
オフィスアワー 質問はメールで受け付ける。
連絡先 s8358@m.ndsu.ac.jp
留意事項 ゲストとして招聘する社会人の方々は学生への応援の気持ちで多忙な中協力してくださっている。そのことを忘れず、一人の大人としての礼節と感謝の気持ちをもって話を受け止め、少しでも多くのことを学んで欲しい。

産業・組織心理学				単位数	2単位
授業コード	18055	科目ナンバリング	150Z0-1234-o2	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	中島 誠				
時間割備考					
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)					
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
産業・組織心理学を学ぶことにより、働くことについて理解し、働く人への支援が出来るようになることを目的とする。					
1 職場における問題に対して必要な心理に関する支援					
2 組織における人の行動					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	働くということを複数の視点から述べる事が出来る。			知識・技能	
2	複数の視点から働く人への支援が出来る。			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	中間テスト(30%)			1	
2	期末試験(70%)			1/2/3	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
1 産業・組織心理学の意義と方法					
2 産業組織とは					
3 組織における人間行動…仕事へのモチベーションとリーダーシップ					
4 働くことと法(1)					
5 働くことと法(2)					
6 ワーク・ライフ・バランスとキャリア形成					
7 産業臨床心理学の視点から					
8 産業保健の視点から、中間テスト					
9 中間テストのフィードバック、従業員支援プログラム(EAP)					
10 組織へのコンサルテーションと心理教育					
11 復職支援					
12 再就職・障害者就労における心理支援					
13 職場でのトラウマケア					
14 産業心理臨床における心理療法1…認知行動療法など					
15 産業心理臨床における心理療法2…ブリーフセラピー					
16 期末試験					

試験等 中間テスト…第8回講義の後半 期末試験…第16回
試験のフィードバックの方法 中間テスト…第9回講義で行う 期末試験…模範解答の掲載
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間 「教科書を読む」ということの意味を理解して、講義の前後で教科書を読むこと。 講義の後でその講義についてまとめること。 事あるごとに労働について考えて話題にすること。
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考 産業・組織心理学／新田 泰生／遠見書房／2600／9784866160702／冊子版
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
オフィスアワー 質問は授業後に教室で受ける 質問はメールでも受ける
連絡先 mn53068@gmail.com
留意事項